

講座紹介	講座名	ふるさととやまの人物ものがたり2025		
	講座No.	U 2125	県民教授氏名	鈴木 康裕

“ふるさととやまの人物ものがたり2025”と称して全5回の講座を設けた鈴木康裕と申します。今年度は、江戸時代後期に加越能の正確な地図を作った石黒信由、ジャポニズムを支えたパリの美術商 林忠正、県内に初めて鉄道を開設した 大矢四郎兵衛、文房具のコクヨの創業者 黒田善太郎、「小麦農林10号」の生みの親 稲塚権次郎です。



富山県には、様々な分野で輝かしい業績を残してきた先人や郷土を発展させてきた先人が数多くいます。この講座を通して、とやまの先人の生き方に共感しながら、チャレンジ精神や地域の一員としての自覚を培っていくことと思います。



“人物ものがたり”シリーズは、今年度で3年目です。まだまだ続編があります。今年度は17名の塾生がいます。過去最高の人数になりました。304号室は満室で熱気に包まれています。(クーラーがいる) ホンネを言えば、次の時代を担う若い方々に聴いてもらいたいのですが、そうもいきません。(笑)

なお、全5回の講座とも北日本新聞社から後援を頂いています。